

こぼれ話3

幻の真慈悲寺と蓮の瓦

最近の異常気象で夏の暑さが大変厳しくなっています。そんな時でも蓮池では、水面を緑の葉が覆い、茎がすくくと立ちあがって美しいピンクの花が開いています。その様子はいかにもすがすがしく、見る人の心を穏やかにしてくれます。

仏教でいう極楽浄土には蓮池があり、人々はこの葉の上に生まれ変わること（極楽往生）を望んでいました。

ところで、山の上にある京王百草園（源頼朝の保護を受けた大寺院真慈悲寺）から出土した中世の瓦は、蓮の花の文様「蓮華唐草文」で飾られています。蓮池と同じく、葉、つぼみ、満開の花、蓮の実や蓮根が表現されています。文様に刻み込まれた蓮池の様子は、人々の願うそのものを表しているようです。

